SONY®

3-078-320-**01**(1) JP

メモリースティック USB リーダー/ライター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MSAC-US20

MEMORY STICK ™

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
  下記のものをよくお読みください。
  ①この取扱説明書の注意事項
  ②お使いになるパソコンに付属の取扱説明書
- **故障したら使わずに、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。**
- **万一異常が起きたら**

  - 煙が出たら
  - 変なにおいや音がしたら
  - 内部に異物が入ったら
  - 落としたり、破損したときは

  → **お買い上げ店または、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、おもわぬけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

注意

MSAC-US20**の“ メモリースティック ”挿入口に異物を入れない**

禁止

発煙・火災の原因となることがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Program© 2000-2002 Sony Corporation
Documentation© 2002 Sony Corporation

- “OpenMG”およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “SonicStage”およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）、
  “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート
  メモリースティック”）、
  “Memory Stick Duo”（“メモリースティック デュオ”）、
  “MagicGate”（“マジックゲート”）
  および MEMORY STICK™ はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMX PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Acrobat Readerはアドビシステムズ社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Computer,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

はじめに

本機を使用するときは、以下の点にご注意ください。

- 本機に付いた汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどは絶対に使用しないでください。本機が変形したり、故障の原因となります。
- “ メモリースティック ”の不具合などによって記録・再生が正しく行われなかった場合、記録内容については保証いたしません。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去などができなくなります。

ヒント

付属のCD-ROMには詳細な取扱説明書（PDFファイル）が入っています。

本機をご使用になる前に必ずお読みください。

目次

⚠警告・⚠注意 安全のために 2
電波障害自主規制について 4
はじめに 5
" メモリースティック "について 7
必要なシステム構成 10
付属品を確かめる 12
各部の名前とはたらき 13
付属アプリケーション 14
取扱説明書・オンラインヘルプの使いかた 16
ソフトウェアをパソコンにインストールする 18
" SonicStage "をパソコンにインストールする 22
" SonicStage "インストール時のご注意 27
本機をパソコンにつなぐ 28
接続が完了したことを確認する 32
リムーバブルディスク（Memory Stick)が表示されないときは 34
" メモリースティック "に記録した画像データをパソコンにコピーする 38
本機をパソコンから取りはずす 39
ご使用方法（Macintoshをお使いの場合）........ 41
" SonicStage "について 43
" SonicStage "で扱える音楽ファイル 46
チェックイン／チェックアウトについて 49
" SonicStage "をお使いになる前のご注意（必ずお読みください）........ 51
" SonicStage "を起動する 53
" メモリースティック "のフォーマット（初期化）とは 55
" メモリースティック "使用上のご注意 57
" I/O拡張モジュール "使用上のご注意 59
ソフトウェアをアンインストール（削除）する 61
故障かな ？ と思ったら 63
著作権保護による制限事項 64
主な仕様 66
アフターサービス 67

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”とは？

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“ メモリースティック ”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“ メモリースティック ”には、標準サイズのものとその小型サイズの“ メモリースティック デュオ ”があります。“ メモリースティック デュオ ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの“ メモリースティック ”と同じサイズになり、標準サイズの“ メモリースティック ”対応機器でもお使いいただけます。

本機でご使用できる“ メモリースティック ”の種類

“ メモリースティック ”には、用途に応じて以下の2種類があり、いずれもご使用いただけます。

“ メモリースティック ”

著作権保護技術（“ マジックゲート ”）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる“ メモリースティック ”です。

“ マジックゲート メモリースティック ”
著作権保護技術（“ マジックゲート ”）を搭載した“ メモリースティック ”です。

また“ メモリースティック ”には“ I/O拡張モジュール ”があり、本機に対応している“ I/O拡張モジュール ”はご使用いただけます。（対応モジュールのご確認は以下のURLをご覧ください。http://www.sony.net/memorystick/support）

ご注意
本機に対応していない“ I/O拡張モジュール ”は決して本機のメモリースティックスロットに差し込まないでください。
“ I/O拡張モジュール ”の機能、ご使用方法等は、各“ I/O拡張モジュール ”の取扱説明書をご覧ください。

“ マジックゲート ”とは？
“ マジックゲート ”は、“ メモリースティック ”と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。“ マジックゲート ”を搭載した機器（本機など）と“ メモリースティック ”の間で、お互いに「“ マジックゲート ”に対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

音楽などの著作権保護が必要なデータは、“ マジックゲート メモリースティック ”と本機など“ マジックゲート ”対応機器の組み合わせで記録や再生ができます。
1枚の“ メモリースティック ”に異なる種類のデータを混在して記憶することも可能です。
例えば、音楽データが入っている“ マジックゲート メモリースティック ”の空き部分に、画像データを記録することもできます。

“ マジックゲート メモリースティック ”を使う

ご注意

- “ SonicStage ”から“ マジックゲート メモリースティック ”に転送（チェックアウト）したデータは、「Hifiフォルダ」というフォルダにまとまって入っています。
  Hifiフォルダは、エクスプローラなど“ SonicStage ”以外では絶対に編集しないでください。編集したデータは再生やチェックインができません。また、編集した場合に損失したデータの補償はいたしかねます。
- すでにデータが書き込まれている“ マジックゲート メモリースティック ”をフォーマットすると、音楽データも含めすべてのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。なお、フォーマットによって損失した音楽データの補償はいたしかねます。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機および“ メモリースティック ”などの不具合により、録音でダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償はいたしかねます。

必要なシステム構成

推奨Windows**環境**

- OS： Microsoft Windows 98Second Edition（以下「Windows 98SE」）/Windows Millennium Edition（以下「Windows Me」）/ Windws 2000 Professional（以下「Windows 2000」）/Windows XP Home Edition/XP Professional（以下「Windows XP」）
  ＊上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
  ＊上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
- CPU： MMX Pentium II 400MHz以上
  （Pentium III 450MHz 以上を推奨）
- RAM：64MB以上
- ハードディスクの空き容量：100MB以上
  （お使いのWindowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また音楽データを扱うための領域がさらに必要です。）
- CD-ROMドライブ
- サウンドボード
- USB端子標準装備
  （本機はUSB2.0 Full Speed（従来のUSB1.1）をサポートしています。）
- ディスプレイ： ハイカラー（16ビット）以上
  800×480ピクセル以上（800×600ピクセル以上を推奨）

推奨Macintosh**環境**

- OS： Mac OS 9.0/9.1/9.2/X（v10.1）
  ＊上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
  ＊上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
- RAM：64MB以上
- ハードディスク：50MB以上の空き容量
- USB端子標準装備
  （本機はUSB2.0 Full Speed（従来のUSB1.1）をサポートしています。）

ご注意

- 推奨環境の全てのパソコンについて動作保証するものではありません。
- " SonicStage "はMacintoshをサポートしておりません。Macintoshをお使いの場合は著作権保護が必要な音楽データ転送を行うことは出来ません。

ご注意
著作権保護のため、付属のソフトウェアでの再生中は、光デジタル出力機能を備えた機種では光デジタル出力が制限される場合があります。

Windows 2000/Windows XP**でのご使用について**

Windows 2000/Windows XP上で“ SonicStage ”を動作させる場合は、下記の制限があります。

- インストールは管理者用のアカウント（Administrator）でログオンしてから行ってください。
  管理者用のアカウントでのログオン方法については、お使いのパソコンのマニュアルなどをご覧ください。
- 使用時は管理者権限（Administrator）または標準ユーザー権限（Power Users）のユーザーでログオンしてください。
- “ SonicStage ”起動中は、CD-ROMドライブを抜き差ししないでください。お客様の大切なデータが失われる場合があります。
- Windows 2000ではProfessionalでのみ、お使いになれます。
- NTFSフォーマットは、標準インストール（工場出荷時）でのみお使いになれます。

Windows XP/Windows Me**でのシステムの復元について**

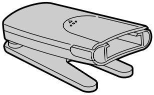
Windows XPまたはWindows Meをお使いの場合、システムツール「システムの復元」を実行すると、“ SonicStage ”で管理している曲を再生できなくなることがあります。
そのため、「システムの復元」を実行する前には、必ず“ SonicStage ”で管理している曲データをバックアップしてください。
「システムの復元」を実行したあと、バックアップしたデータを復元すると、“ SonicStage ”で管理している曲を再生できるようになります。
バックアップの方法については“ SonicStage ”のヘルプをご覧ください。

ご注意
「システムの復元」を実行したために音楽データが再生できなくなった場合、エラーダイヤログが表示されることがあります。その場合、表示される画面に従ってください。

付属品を確かめる

ご使用になる前に、以下の付属品がそろっているか確認してください。不足している付属品があるときは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

- **メモリースティック**USB **リーダー/ライター（1）**

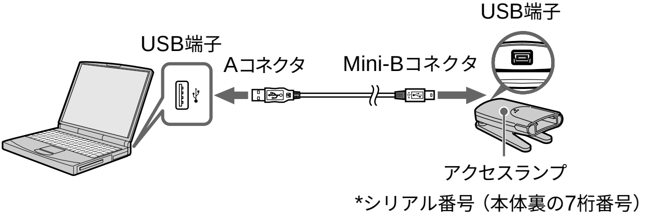


- **専用**USB**ケーブル**1.0m **（1）**
- **専用**USB**ケーブル**10cm **（1）**
- Windows**用**CD-ROM（MSAC-US20〔JP〕）（1）

  ※このCD-ROMには、以下のソフトウェアが入っています。
  - デバイスドライバー
  - " SonicStage "Ver.1.5
  - Memory Stick Formatter Ver.1.3
  - 取扱説明書（PDFファイル）

- **取扱説明書**（1）

各部の名前とはたらき



専用USBケーブルについて

Aコネクタ：パソコンのUSB端子に差し込みます。パソコン本体にUSB端子が複数ある場合は、どの端子でも使えます。

Mini-B**コネクタ**：本機のUSB端子に差し込みます。

ご注意

- アクセスランプは“ メモリースティック ”にアクセスしているときに点灯します。アクセスランプが点灯しているときは、絶対に“ メモリースティック ”を取り出したり、パソコンの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。“ メモリースティック ”の中のデータが壊れることがあります。
- USBケーブルを抜くときは、コネクタ部分を持ってください。

付属アプリケーション

付属のWindows用CD-ROMには下記のソフトウェアが入っています。

デバイスドライバー（Windows用）

本機をWindowsパソコン上で使用するためには本ドライバーのインストールが必要です。

ドライバーインストールについては18ページをご覧ください。

“ SonicStage ”Ver.1.5（Windows用）

“ SonicStage ”は「音楽」を楽しむための総合ソフトウェアです。

“ SonicStage ”では、音楽CDなどの音楽ソースを聞いて楽しむだけでなく、コンピュータのハードディスクに音楽を取り込んで、まとめて管理することができます。またコンピュータのハードディスクに取り込んだ音楽は、“ マジックゲートメモリースティック ”に転送してコンピュータ以外で楽しむこともできます。

ご注意

- “ SonicStage ”はMacintoshをサポートしておりません。
- 本ソフトウェアを使用してのCD-RW/CD-Rメディアへの音楽データの書き込みには対応しておりません。万一、データが壊れた場合は、保証いたしかねます。

Memory Stick Formatter Ver.1.3（Windows**用**）

“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）するためのソフトウェアです。フォーマットとは“ メモリースティック ”に記憶されているデータを全て消去することです。

“ メモリースティック ”対応機器で使用するときの互換性を保つために、本機で“ メモリースティック ”のフォーマットを行う場合は必ず本ソフトウェアを使用してください。

Macintosh用「Memory Stick Formatter」は下記のホームページよりダウンロードしてください。

http://www.sony.net/memorystick/support

ご注意

すでにデータが書き込まれている“ メモリースティック ”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないように、ご注意ください。

取扱説明書・オンラインヘルプの使いかた

CD-ROM付属の取扱説明書の使いかた（Windowsをお使いのかた）

付属CD-ROMには、より詳しい内容の取扱説明書（PDFファイル）が入っています。
本機の使用方法の詳細はこちらをご覧ください。
PDFファイルの閲覧にはAdobe社のAcrobat Readerが必要です。
Acrobat Readerの使いかたは下記となります。

画面の見かた

- 左フレーム
  各ページのサムネイルが表示されます。
  表示させたいページのサムネイルをクリックすると「右フレーム」にそのページが表示されます。
- 右フレーム
  各ページが表示されます。

Acrobat Readerの詳しい使いかたは、Acrobat Readerのオンライン
ヘルプをご覧ください。

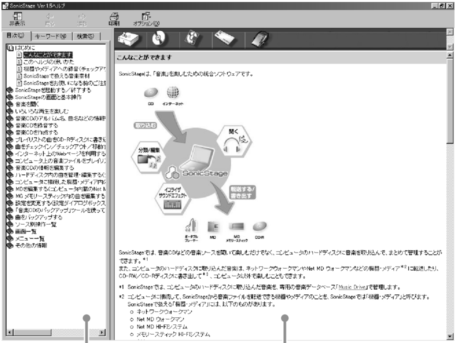
オンラインヘルプの使いかた

下記のアプリケーションソフトウェアにはそれぞれオンラインヘルプが付属されています。

• “ SonicStage ”
• Memory Stick Formatter

各アプリケーションソフトウェアの詳しい使用方法は各オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプの使いかたは下記となります。

画面の見かた



• 左フレーム
目次やキーワードが表示されます。
• 右フレーム
説明が表示されます。文中の下線部分をクリックすると、関連する説明が表示されます。

ソフトウェアをパソコンにインストールする

ご注意

本機をパソコンに接続する前に必ず付属のソフトウェアのインストールを行ってください。
また、本機をパソコンに接続したままインストールを行わないでください。インストール完了後パソコンを再起動してから本機をパソコンに接続してください。

以下では、Windows XPの画面を使って説明しています。
OSによっては画面が異なることがあります。
また、インストールの一部が自動で行われることがあります。

以下の手順に従って、ソフトウェアのインストールを行ってください。

デバイスドライバーをパソコンにインストールする

ご注意

デバイスドライバーインストールを行うと、同時に“ Memory Stick Formatter ”と取扱説明書（PDFファイル）がパソコンにインストールされます。

1 パソコンの電源を入れます。

この段階では本機をパソコンに接続しないでください。
他のアプリケーションが立ち上がっている場合は終了させてください。
Windows 2000,XPをお使いの場合はデバイスドライバーをインストールするためには、Administrator権限でログオンする必要があります。

2 付属のCD-ROM（MSAC-US20[JP]）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

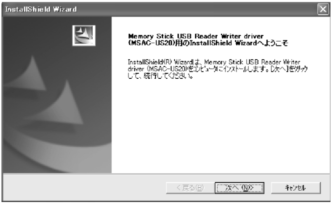
自動的にインストールランチャーが起動します。

ドライバをインストールするにはメニューの「ドライバー」ボタンをクリックします。

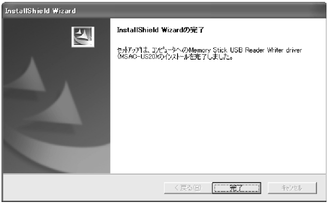
3 使用許諾文をよくお読みになり［同意する］ボタンをクリックする。

［同意する］ボタンを押すとドライバのインストールが始まります。

4 画面の指示にしたがって［次へ］ボタンをクリックする。

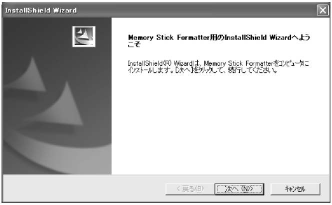


5 ［完了］ボタンをクリックすると、ドライバインストールが完了する。

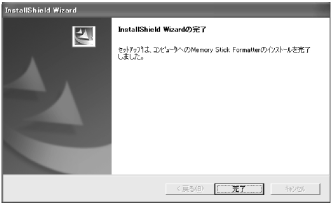


6 続けて「Memory Stick Formatter」のインストールが始まる。

画面の指示にしたがって［次へ］ボタンをクリックします。



7 [完了] ボタンをクリックすると「Memory Stick Formatter」のインストールが完了する。



「Memory Stick Formatter」は「スタート」－「プログラム」－「Memory Stick Utility」－「Memory Stick Formatter」からご利用いただけます。

8 続けて取扱説明書（PDFファイル）がパソコンに自動的にインストールされます。

取扱説明書のインストールが完了すると、アプリケーション選択画面に戻ります。
ここでソフトウェアのインストールを終了するには「Exit」ボタンを押します。
この場合“ SonicStage ”はインストールされません。
取扱説明書は「スタート」－「プログラム」－「Sony Memory Stick Reader Writer」－「MSAC-US20 取扱説明書」からご覧いただけます。

ご注意

取扱説明書（PDFファイル）をご覧になるにはAdobe社のAcrobat Readerが必要です。

“ SonicStage ”をパソコンにインストールする

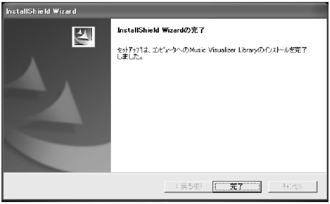
1 “ SonicStage ”**のインストールをする。**

メニュー画面の“ SonicStage ”ボタンをクリックします。

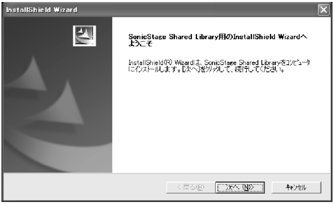
2 使用許諾文をよくお読みになり［同意する］ボタンをクリックする。

［同意する］ボタンをクリックすると“ SonicStage ”のインストールが始まります。

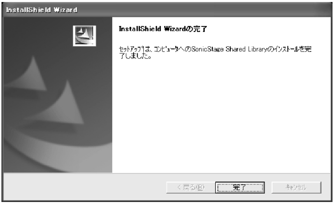
3 [完了] ボタンをクリックする。



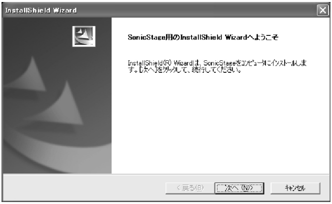
4 画面の指示にしたがって [次へ] ボタンをクリックする。



5 [完了] ボタンをクリックする。



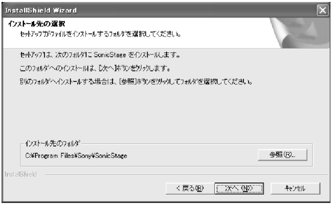
6 画面の指示にしたがって［次へ］ボタンをクリックする。



7 “ SonicStage ”をインストールするフォルダを選択する。

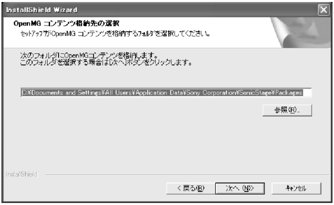
インストールするフォルダを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

インストール先フォルダが決まったら［次へ］ボタンをクリックします。

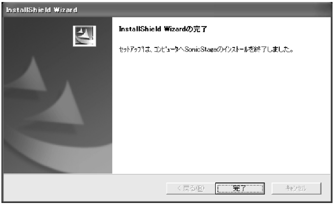


8 “ OpenMGコンテンツ ”を格納するフォルダを選択する。

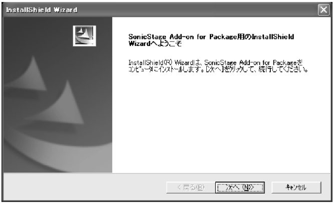
インストールするフォルダを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。
インストール先フォルダが決まったら [次へ] ボタンをクリックします。



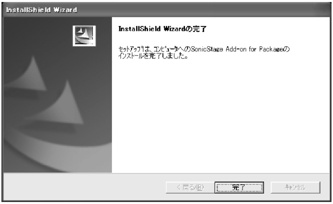
9 [完了] ボタンをクリックする。



10 画面の指示にしたがって [次へ] ボタンをクリックする。



11 ［完了］ボタンをクリックすると“ SonicStage ”のインストールが完了する。



12 ［再起動］ボタンを押してパソコンを再起動する。

ご注意

本機のパソコンへの接続は、必ずパソコンの再起動後に行ってください。

“ SonicStage ”インストール時のご注意

“ SonicStage ”のインストールを行っている途中でインストールがとまってしまうことがあります。

このようになった場合、インストール画面を横に移動して、メッセージボックスが現れていないか確認してください。OKを押せば正常にインストールが継続されます。

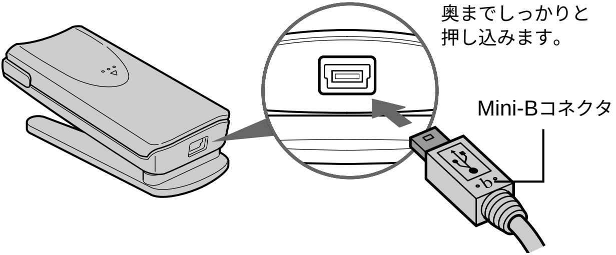
本機をパソコンにつなぐ

ご注意

本機をパソコンに接続する前に必ず付属ソフトウェアのインストールを行いパソコンを再起動してください。

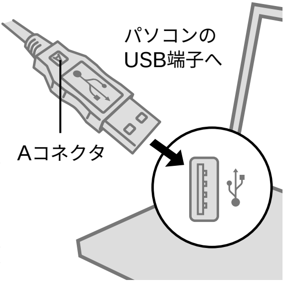
付属の専用USBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子をつなぎます。

1 本機のUSB端子に、USBケーブルのMini-Bコネクタを奥までしっかりと押し込んでつなぐ。



2 パソコンのUSB端子にUSBケーブルのAコネクタをつなぐ。

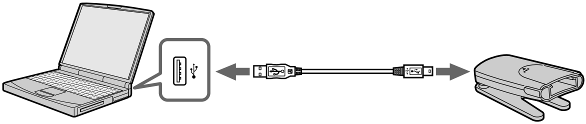
- “ 新しいハードウェアの検出ウィザード ”が起動しドライバーのインストールが始まります。OSによっては自動的にドライバーのインストールが行われることがあります。
- パソコンのUSB端子の位置は、お使いのパソコンによって異なります。
- 複数のUSB端子を持っているパソコンをお使いのときは、標準マウス、キーボードを除いて本機以外の機器を同時にUSB端子につながないでください。またデスクトップ型パソコンをお使いの場合は、本体のUSB端子をご使用ください。くわしくは、下記の「推奨する本機のつなぎかた」をご覧ください。



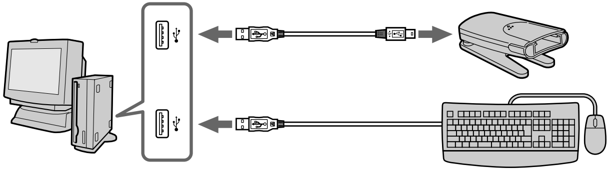
推奨する本機のつなぎかた

以下のようにつないだ場合に、本機の動作を確認しています。

パソコン本体のUSB端子に、付属のUSBケーブルで本機をつなぎ、パソコンに装備されている他のUSB端子には何もつないでいない場合



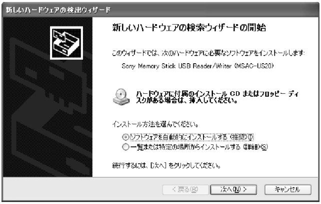
USBキーボードとマウスを標準で装備しているパソコンで、パソコン本体の片方のUSB端子にUSBキーボードをつなぎ、もう1つのUSB端子に、付属のUSBケーブルで本機をつないだ場合



ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合、同時にお使いになるUSB機器によっては、動作を保証いたしません。
- 付属のUSBケーブルは、必ずパソコン本体のUSB端子に接続してください。キーボードやUSBハブなどを経由して接続している場合は、動作を保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- パソコンへの接続は必ず付属の専用USBケーブルをご使用ください。

3 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し［次へ］をクリックする。



4 ［完了］をクリックする。

インストールが完了し、本機をお使いいただくことが出来ます。

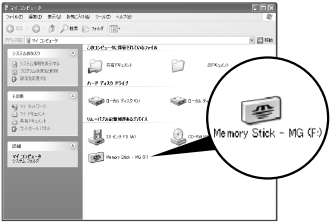
接続が完了したことを確認する

以下ではMicrosoft Windows XPのクラシック［スタート］メニュー設定の画面を使って説明しています。OSの種類および設定によっては画面表示が異なる場合があります。

1 「マイコンピュータ」フォルダを開く。

「マイコンピュータ」フォルダが表示されました。

2 新しく認識された「Memory Stick」のアイコンが表示されていることを確認する。



この「Memory Stick (F:)」は、パソコンに接続した本機を示しています。お使いのパソコンによってドライブ文字（(F:)など）は異なることがあります。

「Memory Stick」のアイコンが表示されたら、接続は完了です。
「Memory Stick」のアイコンが表示されるまでに、時間がかかることがあります。

ご注意

- ご使用になるOSの種類および“メモリースティック”によっては“Memory Stick（F:）”が“リムーバブルディスク（F:）”と表示されアイコンも異なることがあります。また、ご使用になる“メモリースティック”によって“ローカルディスク（F:）”として認識されることがありますが、ご使用上問題はありません。
- 「Memory Stick」のアイコンが表示されないときは、デバイスドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。次のページの手順に従って操作してください。
  すでに他の「リムーバブル ディスク」を使用している場合には、複数の「リムーバブル ディスク」のアイコンが表示されます。

リムーバブルディスク（Memory Stick)が表示されないときは

すでに別のデバイスドライバーがインストールされている可能性があります。本機をパソコンにつないで、以下の方法をお試しください。

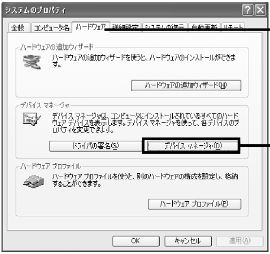
ーWindows 2000/Windows XP**をお使いの場合ー**

AdministratorまたはAdministrator権限のユーザーIDでログオンしてください。

1 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

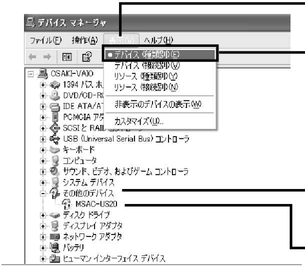
2 デバイスドライバーがすでにインストールされていないか確認する。



①「システムのプロパティ」画面の、［ハードウェア］をクリックする。

②［デバイス マネージャ］をクリックする。

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。



③［表示］をクリックする。

④［デバイス（種類別）］をクリックする。

⑤［その他のデバイス］を ダブルクリックする。

⑥“？”マークの付いた［? MSAC-US20］が入っていないか確認する。

3 インストールされていたら削除する。

手順2の方法で確認し、「デバイス（種類別）」の中の「その他のデバイス」の中に［？MSAC-US20］が入っていたら、すでに別のデバイスドライバーがパソコンに入っています。
以下の手順で削除します。

［？MSAC-US20］以外は削除しないでください。

①［？MSAC-US20］を右クリックする。
②［削除］をクリックする。「デバイス削除の確認」画面が表示されます。
③［OK］ボタンをクリックする。削除されます。
④本機をパソコンから取りはずしてから、パソコンを再起動する。

あらためて18ページの手順1から操作し、デバイスドライバーをインストールしなおします。

ご注意

- ［？MSAC-US20］以外のデバイスを削除すると、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- “ SonicStage ”のインストールが完了している場合は“ SonicStage ”を再度インストールする必要はありません。ドライバーインストール完了後はパソコンを再起動してから本機をパソコンに接続してください。

ーWindows 98SE/Windows Me**をお使いの場合ー**

1 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 デバイスドライバーがすでにインストールされていないか確認する。

①「システムのプロパティ」画面の、［デバイス マネージャ］をクリックする。

②［その他のデバイス］をダブルクリックする。

③“？”マークの付いた［? MSAC-US20］が入っていないか確認する。

3 インストールされていたら削除する。

手順2の方法で確認し、「その他のデバイス」の中に［？MSAC-US20］が入っていたら、すでに別のデバイスドライバーがパソコンに入っています。

以下の手順で削除します。

［？MSAC-US20**］以外は削除しないでください。**

①［？MSAC-US20］をクリックする。

②［削除］をクリックする。「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③［OK］ボタンをクリックする。削除されます。

④本機をパソコンから取りはずしてから、パソコンを再起動する。

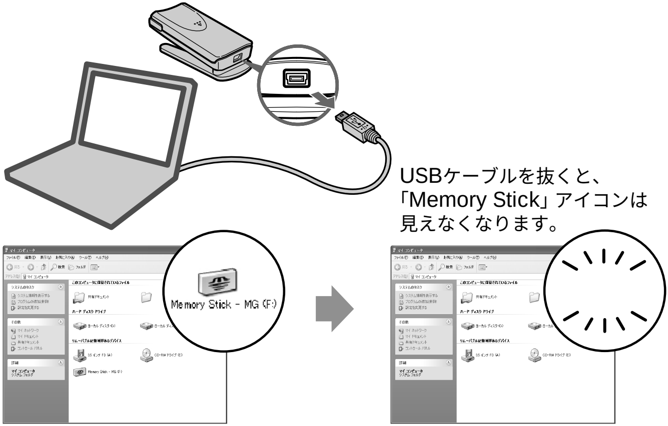
あらためて18ページの手順1から操作し、デバイスドライバーをインストールしなおします。

ご注意

- ［？MSAC-US20］以外のデバイスを削除すると、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- “ SonicStage ”のインストールが完了している場合は“ SonicStage ”を再度インストールする必要はありません。ドライバーインストール完了後はパソコンを再起動してから本機をパソコンに接続してください。

“ メモリースティック ”に記録した画像データをパソコンにコピーする

本機とパソコンをつないでいるUSBケーブルを抜くと、パソコンが本機を認識しなくなり、「リムーバブル ディスク（“ メモリースティック ”）」に入っている画像データをパソコンで見ることができなくなります。“ メモリースティック ”に入っている画像データをパソコンにコピーしておけば、本機をつないでいなくても画像データを見たり加工したりすることができます。



画像データのパソコンへのコピーの方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

本機をパソコンから取りはずす

ー Windows Me/Windows 2000/Windows XP**をお使いのかたへ** ー

パソコンからUSBケーブルを抜く前に、以下の手順に従って操作してください。

- 以下では、Windows XPの画面を使って説明しています。OSの種類によって、画面表示が一部異なる場合があります。
- Windows 98SEをお使いのかたは、この手順は不要です。

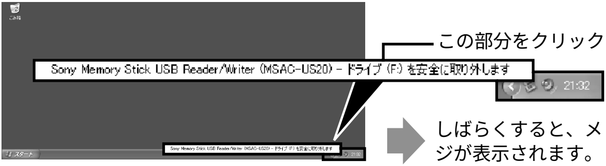
1 画面の右下にあるタスクトレイの中の、「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする。

このアイコンをクリックする。

メッセージが表示されます。

この部分がタスクトレイです。

2 「Sony Memory Stick USB Reader/Writer（MSAC-US20）**ードライブ（**F:**）を安全に取り外します」をクリックする。**



この部分をクリックする。

しばらくすると、メッセージが表示されます。

※ドライブ文字（(F:) など）は、お使いのパソコンによって異なることがあります。

3 「Sony Memory Stick USB Reader/Writer（MSAC-US20）**は安全に取りはずすことができます。」が表示されます。**

これでパソコンから本機を抜いたりしても安全な状態になりました。

ご注意

お使いのOSによって表示が異なることがあります。

ご注意

- “ メモリースティック ”を本機から取りはずす場合は上記の操作は必要ありません。
- アクセスランプの点滅中に“ メモリースティック ”を本機から取りはずさないでください。“ メモリースティック ”のデータが壊れることがあります。
- 本操作を行うと本機はパソコンから認識されなくなります。再認識させるためには、一度USBケーブルを取りはずし、パソコンに差しなおしてください。

ご使用方法
（Macintoshをお使いの場合）

OS標準装備のドライバーでご使用できます。
以下の手順に従って操作してください。

本機をパソコンに接続しドライバーをインストールする

1 **パソコンの電源を入れる。**

2 **“ メモリースティック ”を本機に差し込み、付属の専用USBケーブルで、本機のUSB端子とパソコン本体のUSB端子をつなぐ。**

本機とパソコンとのつなぎかたはP.30をご覧ください。

3 **自動的にドライバーインストールが始まり、パソコンにドライバーがインストールされます。**

4 **ドライバーインストールが完了すると、デスクトップに“ メモリースティック ”のアイコンが表示され、本機をお使いいただける状態となります。**

ご注意
本機に“ メモリースティック ”が差し込まれていないと、メモリースティックアイコンはデスクトップに表示されません。

本機をパソコンから取りはずす あるいは、本機に入った“ メモリースティック ”を取りはずす

1 **本製品を使用しているソフトウェアを閉じる。**

2 **本機のアクセスランプが点灯していないことを確認する。**

3 **メモリースティックアイコンを「ゴミ箱」に移動する。**
または、メモリースティックアイコンを選んだ状態にして、画面左上の〔特別〕メニューの「取りはずし」を選ぶ。

4 **本機をパソコンから取りはずす。あるいは、本機に入った“ メモリースティック ”を取りはずす。**

ご注意

- アクセスランプの点滅中に“ メモリースティック ”を本機から取りはずさないでください。“ メモリースティック ”のデータが壊れることがあります。
- 本操作を行わずに、本機あるいは本機に入った“ メモリースティック ”を取りはずすと、“ メモリースティック ”が壊れることがあります。必ず、本操作を行ってから取りはずしてください。
  万一、本操作を行わずに取りはずして発生した故障につきましては、責任を負いかねます。

“ SonicStage ”について

“ SonicStage ”は、「音楽」を楽しむための統合ソフトウェアです。
“ SonicStage ”では、音楽CDなどの音楽ソースを聞いて楽しむだけでなく、コンピュータのハードディスクに音楽を取り込んで、まとめて管理することができます。*1
また、コンピュータのハードディスクに取り込んだ音楽は、“ マジックゲート メモリースティック ”に転送してコンピュータ以外で楽しむこともできます。

*1“ SonicStage ”では、コンピュータのハードディスクに取り込んだ音楽を、専用の音楽データベース「Music Drive」で管理します。

さまざまな音楽ソースを聞いて楽しむ

“ SonicStage ”では、以下の音楽ソースを、統一されたシンプルなマウス操作によって再生することができます。

- コンピュータのUSBコネクタに接続した、機器・メディア内の曲（本機と“ マジックゲート メモリースティック ”の組み合わせでご使用いただけます。）
- 音楽CD
- コンピュータ上の音楽ファイル
- インターネットの音楽配信サービス（EMDサービス）で提供されている音楽ファイル

さまざまな音楽ソースから音楽を取り込んで、音楽データベースを作る（Music Drive）

“ SonicStage ”では、音楽データベース「Music Drive」でコンピュータ上の音楽ファイルを管理しています。
「Music Drive」には、さまざまな音楽ソースから、以下の方法で音楽ファイルを取り込むことができます。

- 音楽CDの曲を、「Music Drive」に録音する。
- コンピュータ上の既存の音楽ファイルを、「Music Drive」に取り込む（インポート）。
- インターネットの音楽配信サービスから、音楽ファイルをダウンロードし、「Music Drive」に取り込む。

取り込んだ音楽を、好みにあわせて分類する（プレイリスト）

コンピュータのハードディスク（Music Drive）に取り込んだ音楽ファイル（曲）は、アーティスト名、曲名、ジャケット画像などの情報を付けて管理したり、「プレイリスト」という入れ物を使って分類したりできます。

取り込んだ音楽を、さまざまな方法で検索する（仕分けリスト）

コンピュータのハードディスク（Music Drive）に取り込んだ音楽ファイル（曲）は、「仕分けリスト」を使って検索できます。
「仕分けリスト」を使うと、「Music Drive」内の曲を、「アーティスト名」、「ジャンル名」、「フォーマット別」といった分類で絞り込んで表示したり、キーワードや条件を指定して検索したりできます。
「Music Drive」に取り込んだ大量の曲の中から、特定のアーティストやジャンルの曲をすばやく探したいときなどに便利です。

取り込んだ音楽を機器・メディアなどに転送し、外に持ち出して楽しむ

コンピュータのハードディスク（Music Drive）に取り込んだ音楽ファイル（曲）は、“ マジックゲート メモリースティック ”に転送できます。
“ マジックゲート メモリースティック ”に転送した曲は、“ マジックゲート メモリースティック ”に対応したポータブルプレーヤーなどを使って屋外で楽しむこともできます。

サウンドエフェクトやイコライザを使って音楽再生を楽しむ

“ SonicStage ”では、「ボーカルキャンセラー」のサウンドエフェクトが用意されています。「ボーカルキャンセラー」のサウンドエフェクトを使うと、曲のボーカル音を消して（低減して）再生したり、曲の音程を変えて再生することができます。
また、イコライザの効果を加えて曲を再生することもできます。「ロック」、「ジャズ」などのあらかじめ用意されている設定から選べるだけでなく、お好みに合わせて調整した音質を登録することもできます。

音楽を映像と一緒に楽しむ（Visualizer）

“ SonicStage ”のVisualizer画面では、再生中の曲に合わせて、さまざまなパターンの映像（Visualizer）を表示できます。
Visualizerの映像をディスプレイ画面全体に表示して、音楽と映像を一緒に楽しむこともできます。

“ SonicStage ”の様々な使いかたは“ SonicStage ”のヘルプをご覧ください。

“ SonicStage ”で扱える音楽ファイル

“ SonicStage ”では、以下のフォーマット（ファイル形式）の音楽ファイルを、“ SonicStage ”の音楽データベース「Music Drive」に取り込んで再生できます。

OpenMG形式の音楽ファイル

ATRAC3またはATRAC3plusという形式で変換され、著作権保護技術“ OpenMG ”特有の『“ OpenMG ”形式」で暗号化した音楽ファイルです（拡張子：.omg）。

“ OpenMG ”形式の音楽ファイルは、以下の方法で「Music Drive」に取り込むことができます。

- EMDサービスから“ OpenMG ”形式の音楽ファイルをダウンロードして、「Music Drive」にインポートする。
- 音楽CDの曲を、“ OpenMG ”（ATRAC3／ATRAC3plus）形式で録音する。
- ハードディスク内の音楽ファイルを、“ OpenMG ”（ATRAC3／ATRAC3plus）形式に変換してインポートする。
- EMDサービスなどから“ マジックゲート メモリースティック ”に直接取り込んだ曲を、「Music Drive」に移動する。

WAV形式の音楽ファイル

WAV形式の音楽ファイルは、以下の方法で「Music Drive」に取り込むことができます。

- 音楽CDの曲を、WAV形式で録音する。
- ハードディスク内のWAV形式の音楽ファイルを、そのままのファイル形式でインポートする。

MP3形式の音楽ファイル

MP3形式の音楽ファイルは、以下の方法で「Music Drive」に取り込むことができます

- ハードディスク内のMP3形式の音楽ファイルを、そのままのファイル形式でインポートする。

ご注意

お使いのコンピュータに、Windows Media Player Version 6.4以上がインストールされていない場合、MP3形式の音楽ファイルはインポートできません。（Windows Media Playerは、“ OpenMG ”ホームページ（http://www.openmg.com/）からダウンロードできます。）

WMT（Windows Media Technologies）対応の音楽ファイル

WMT対応の音楽ファイルは、以下の方法で「Music Drive」に取り込むことができます。

- EMDサービスからWMT対応の音楽ファイルをダウンロードして、「Music Drive」にインポートする。
- 音楽CDの曲を、Windows Media（WMA）形式* で録音する。
- ハードディスク内のWMT対応の音楽ファイルを、そのままのファイル形式でインポートする。

* WMT対応の音楽ファイルの1つの形式です。

ご注意

お使いのコンピュータにWindows Media Player Version 7.0以上がインストールされていない場合、WMT対応の音楽ファイルは再生できません。（Windows Media Playerは、“ OpenMG ”ホームページ（http://www.openmg.com/）からダウンロードできます。）

ご注意

WAV形式、MP3形式、WMT対応の音楽ファイルの中には、サンプリングレートなどの条件によって、インポートできないものがあります。インポートできる音楽ファイルについて詳しくは、“ SonicStage ”のヘルプの「インポートできるファイルフォーマット」をご覧ください。

チェックイン／チェックアウトについて

コンピュータのハードディスク（Music Drive）に取り込んだ曲（音楽ファイル）は、「チェックアウト」という操作によって、“ マジックゲート メモリースティック ”に転送できます。
また、音楽CDの曲を“ マジックゲート メモリースティック ”に録音する場合にも、“ SonicStage ”によって、自動的にチェックアウトの処理が行われます。この場合、“ SonicStage ”は、はじめに音楽CDの曲を「Music Drive」に録音し、続けて、「Music Drive」に録音された曲を“ マジックゲート メモリースティック ”にチェックアウトします。
上記の操作や処理によってチェックアウトされた曲は、“ マジックゲート メモリースティック ”対応のプレーヤーなどを使って、コンピュータがないところでも再生できるようになります。また、チェックアウトされた曲は、「チェックイン」という操作によって「Music Drive」に戻すことができます。
こうした「チェックイン／チェックアウト」という操作（処理）は、音楽コンテンツの著作権を保護するための仕組みです。そのため、以下のような規則や制限があります。

1つの音楽ファイルは、3回分の「チェックアウトする権利」を持っています。

CD録音などによって「Music Drive」に取り込まれた曲（音楽ファイル）は、同時に3つの機器やメディアにチェックアウトできます。さらに、「Music Drive」内にもオリジナルの音楽ファイルが残るので、3つの機器やメディアにチェックアウトした状態でも、「Music Drive」内の音楽ファイルを再生することができます。
また、一度チェックアウトした音楽ファイルをチェックインしてコンピュータに戻すと、再びチェックアウトすることができるようになります。

チェックアウトした音楽ファイルは、チェックアウト元のコンピュータにのみチェックインできます。

他のコンピュータからチェックアウトされた曲は、チェックインできません。
チェックイン／チェックアウトについて詳しくは、“ SonicStage ”のヘルプをご覧ください。

ご注意

音楽ファイルによっては、「チェックアウトする権利」が3回以外に設定されていたり、再生可能期間や再生可能回数などの制限が付いている場合があります。
チェックアウト元のコンピュータ以外で、“ マジックゲート メモリースティック ”内の曲を削除したあと、チェックアウト元のコンピュータに“ マジックゲート メモリースティック ”を接続すると、削除した曲はチェックインしたものとみなされます。そのため、コンピュータ内の曲（音楽ファイル）の残りチェックアウト回数が自動的に戻ります。

“ SonicStage ”をお使いになる前のご注意（必ずお読みください）

“ SonicStage ”をお使いになる前に、必ず以下の注意事項をお読みください。

“ SonicStage ”と、他の“ OpenMG ”対応ソフトウェアの起動についてのご注意

“ SonicStage ”と、他の“ OpenMG ”対応のソフトウェア（“ OpenMG ”形式のファイルを再生・管理できるソフトウェア）を同時に起動しないでください。コンピュータのハードディスクや、お使いの機器・メディア内に収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。

“ SonicStage ”と、他のソフトウェアを同時に使用するときのご注意

“ SonicStage ”と、他のソフトウェアを同時に使用するときは、以下の点にご注意ください。

“ SonicStage ”で音楽CDの曲を録音しているときは、音楽CDを再生できる他のソフトウェアを使用しないでください。音楽CDの録音が正常に行われない場合があります。

“ SonicStage ”で曲を再生しているときに、他のソフトウェアを使用すると、再生音が途切れる場合があります。

Windows XP／Windows Meのシステムツール「システムの復元」を実行する場合のご注意

Windows XPまたはWindows Meのシステムツール「システムの復元」を実行すると、“ SonicStage ”のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいはインポートした曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。

大切な曲データの消失を防ぐために、「システムの復元」を実行する前にあらかじめ、“ SonicStage ”バックアップツールを使って曲データのバックアップを行ってください。「システムの復元」を実行した後に、“ SonicStage ”バックアップツールで曲データを復元すると、保存した曲データを再生できるようになります。
“ SonicStage ”バックアップツールの使いかたについては、“ SonicStage ”のヘルプをご覧ください。

“ OpenMG Jukebox ”をご使用になる場合のご注意

“ SonicStage ”がインストールされているコンピュータには、Version 2.1以前の“ OpenMG Jukebox ”はインストールできません。
“ SonicStage ”がインストールされているコンピュータにVersion 2.2以降の“ OpenMG Jukebox ”をインストールすることはできますが、“ SonicStage ”と“ OpenMG Jukebox ”を同時に起動することはできません。
“ SonicStage ”がインストールされているコンピュータにVersion 2.2以降の“ OpenMG Jukebox ”をインストールした場合、曲（音楽ファイル）のデータを管理しているデータベースは共有されます。

CD-RW／CD-Rディスクへの書き込み

本ソフトウェアを使用したCD-RW／CD-Rディスクへの書き込みには対応しておりません。
万一、データが壊れた場合等の保証はいたしかねます。

“ SonicStage ”を起動する

Windowsの［スタート］メニューの［すべてのプログラム］－［SonicStage］－［SonicStage］をクリックする。

“ SonicStage ”が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

- Windows XP以外のオペレーティングシステムをお使いの場合は、Windowsの［スタート］メニューの［プログラム］－［SonicStage］－［SonicStage］をクリックして、“ SonicStage ”を起動してください。
- お使いのコンピュータで“ SonicStage ”をはじめて起動したときは、メインウィンドウが表示される前に『“ SonicStage ”再生設定の確認』ダイアログボックスが表示されます。詳しくは“ SonicStage ”のヘルプの「はじめて起動したときに必要な設定」をご覧ください。
- 以下の方法でも“ SonicStage ”を起動できます。
  - －Windowsのデスクトップに“ SonicStage ”のアイコンが表示されている場合は、アイコンをダブルクリックする。（Windows XPをお使いの場合、設定によっては、一定期間使っていないアイコンがデスクトップ上から削除されます。デスクトップ上に“ SonicStage ”のアイコンが表示されていない場合は、［スタート］メニューから起動してください。）
  - －“ SonicStage ”で再生するように関連付けられている音楽ファイルを、Windowsのエクスプローラなどでダブルクリックする。

ご注意

“ SonicStage ”がインストールされているコンピュータにVersion 2.2以降の“ OpenMG Jukebox ”をインストールした場合、“ SonicStage ”と“ OpenMG Jukebox ”を同時に起動することはできません。

“ SonicStage ”の様々な使いかたは“ SonicStage ”のヘルプをご覧ください。

“ メモリースティック ”のフォーマット（初期化）とは

“ メモリースティック ”に記憶してあるデータをすべて消去することです。本機でフォーマットを行う場合は、必ず付属の「Memory Stick Formatter」ソフトウェアを使って、下記の手順に従って行ってください。「Memory Stick Formatter」を使用せずにパソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”については、ハンディカムなどの“ メモリースティック ”対応機器での動作を保証いたしません。
「Memory Stick Formatter」の詳しいご使用方法は「Memory Stick Formatter」に付属のマニュアルをご覧ください。
「Memory Stick Formatter」は、下記ホームページからもダウンロードできます。
http://www.sony.net/memorystick/support

ご注意
すでにデータが書き込まれている“ メモリースティック ”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないように、ご注意ください。

1 本機に“ メモリースティック ”を入れる。

2 「Memory Stick Formatter」を起動する。

3 “ メモリースティック ”が認識されているドライブが選択されていることを確認してから、［フォーマット開始］をクリックする。フォーマットが始まります。

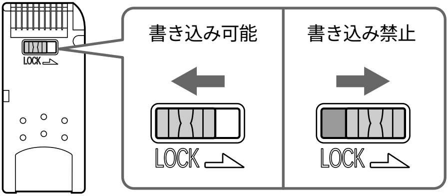
ご注意
“ メモリースティック ”のフォーマット中は本機をパソコンから取りはずさないでください。“ メモリースティック ”内のデータが壊れることがあります。

データを書き込み禁止にする。

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、" メモリースティック "には書き込み禁止のタブがついています。このタブを左右に動かして、" メモリースティック "を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

- 書き込み可能
  データの書き込みが可能な状態です。
- 書き込み禁止
  タブを右にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。
  データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

" メモリースティック "裏面



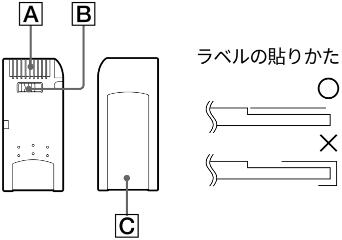
" メモリースティック デュオ "使用上のご注意

" メモリースティック デュオ "を本機でお使いの場合は、必ず" メモリースティック デュオ "をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。
メモリースティック デュオ アダプターに" メモリースティック デュオ "が装着されていない状態で、" メモリースティック "対応機器に挿入しないでください。
このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

データ読み込み／書き込みスピード

お使いの" メモリースティック "と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

“ メモリースティック ”使用上のご注意



- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。B
- “ メモリースティック デュオ ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- アクセスランプ点灯中（データの読み込み中、書き込み中）には“ メモリースティック ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  －アクセスランプ点灯中（読み込み中、書き込み中）に“ メモリースティック ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。万一、データがなくなった場合の責任は負いかねます。
  万一、本機をお使いいただいてデータの破壊、損失、機器の故障などが発生した場合でも、その責任はいっさい負いかねます。
- “ マジックゲート ”によって著作権保護されたデータは、“ マジックゲートメモリースティック ”以外では扱えません。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。C
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- “ メモリースティック デュオ ”のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。

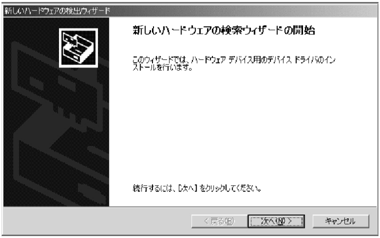
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。A
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  －直射日光のあたる場所
  －湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“ I/O拡張モジュール ”使用上のご注意

“ I/O拡張モジュール ”をご使用の前に、必ず以下のURLで対応機器をご確認ください。
http://www.sony.net/memorystick/support

“ I/O拡張モジュール ”の機能、ご使用方法等は、各“ I/O拡張モジュール ”の取扱説明書をご覧ください。

本機に対応していない“ I/O拡張モジュール ”は決して本機のメモリースティックスロットに差し込まないでください。万一、未対応機をご使用になり本機が故障した場合の責任は負いかねます。
本機のメモリースティックスロットに対応していない“ I/O拡張モジュール ”を差し込むと、下記の画面が立ち上がることがありますが、必ず「キャンセル」をクリックしてください。なお、画面はご使用されているOSによって異なります。



“ メモリースティック ”ご使用後、“ I/O拡張モジュール ”をご使用になる場合、あるいは“ I/O拡張モジュール ”ご使用後“ メモリースティック ”をご使用になる場合、ご使用のOSによっては下記の画面が現れることがありますが、ご使用上問題はありません。なお、画面はご使用されるOSによって異なります。

ソフトウェアをアンインストール(削除)する

ーWindows 98SE/ Windows Me**の場合ー**

1 ［スタート］メニューから［設定］−［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から「削除したいソフトウェア（“SonicStage”、Memory Stick Formatter）**」を選び、［追加と削除］をクリックする。**
選択したソフトウェアがアンインストールされます。

* “ SonicStage ”を削除するときは以下の順番でアンインストールしてください。
“ SonicStage ”
“ Music Visualize Library ”
“ OpenMG Secure Module ”

ーWindows 2000/Windows XP**の場合ー**

管理者のアカウント（Administrator）でログオンしてから、以下の手順に従ってください。管理者用のアカウントでのログオン方法については、お使いのパソコンのマニュアルなどをご覧ください。

1 Windows 2000**の場合：［スタート］メニューから［設定］−［コントロールパネル］をクリックする。**
Windows XP**の場合：［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 Windows 2000**の場合：「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする。**
Windows XP**の場合：「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする*****。**

「アプリケーションの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。

3 「プログラムの変更と削除」をクリックする。

4 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「削除したいソフトウェア（"SonicStage"、Memory Stick Formatter**」を選び、[変更／削除]（**Windows XP**の場合は [変更と削除]）をクリックする。**

選択したソフトウェアがアンインストールされます。

* "SonicStage"を削除するときは以下の順番でアンインストールしてください。
"SonicStage"
"Music Visualize Library"
"OpenMG Secure Module"

故障かな ？ と思ったら

症状	原因／対策
リムーバブルディスク（Memory Stick）のアイコンが表示されない	• 正しくつないでいない。 ➔ 正しくつなぐ。（28ページ） • パソコンのUSB端子に本機以外の機器をつないでいる。 ➔ 本機以外のUSB機器を取りはずす。または電源を切り再起動する。 • ドライバーがインストールされていない。 ➔ 付属のCD-ROMからドライバーをインストールしてください。（18ページ）
エクスプローラまたはマイコンピュータで“ メモリースティック ”にアクセスできない。	• “ メモリースティック ”が挿入されていない。 ➔“ メモリースティック ”を挿入する。
“ メモリースティック ”を差し込むとアクセスランプが点滅する	• “ メモリースティック ”の端子に異物が付着している。 ➔“ メモリースティック ”の端子にほこりやゴミなどが付着していないか確認し、異物を取り除いてから、再度差し込んでください。
パソコン上の音楽データがつかえなくなった	• Windows MeまたはWindows XPの「システムの復元」を行った。（11ページ） ➔ バックアップデータがあるときはバックアップデータを戻しておいてください。 バックアップツールの使いかたは“ SonicStage ”上のオンラインヘルプをご覧ください。

著作権保護による制限事項

“ OpenMG ”での著作権保護による制限事項

“ SonicStage ”ソフトウェアは、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、ソニーの開発した著作権保護技術“ OpenMG ”を採用しております。著作権保護された音楽データをパーソナルコンピュータで取り扱うために、“ OpenMG ”はSDMIの取り決めに従って高度な暗号化技術を用いています。このため、ご使用いただくにあたり以下のような制限があることをご理解ください。

- “ SonicStage ”を用いてコンピュータのハードディスクに入れた音楽は、そのデータを他のコンピュータ等にコピーしても再生することはできません。
- コンピュータから“ マジックゲート メモリースティック ”に転送（チェックアウト）した音楽は、そのデータを他のコンピュータ等にコピーしても再生することはできません。
- “ マジックゲート メモリースティック ”に転送（チェックアウト）した音楽データは、転送元であるコンピュータ以外に転送（チェックイン）することはできません。
- 複数のコンピュータに同一の“ SonicStage ”をインストールすることはできません。
- 音楽データの利用方法に関する条件（Usage Rule）について著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに利用条件（Usage Rule）が付加されている場合、この条件に従った操作のみが可能になります。音楽CD等で利用条件が付加されていない音楽データの場合は、SDMIの基本ルール（Default Usage Rule）に従った操作のみ可能です。この基本ルールでは、「ひとつの音楽データにつき、チェックアウトの回数制限は3回まで」となっています。
- “ SonicStage ”ソフトウェアにて取り扱えない音楽データについて本ソフトウェアでは、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことはできません。

• “ SonicStage ”ソフトウェアのバージョンアップについて本ソフトウェアは SDMI の現在の取り決めに基づいて作られています。この規定が将来、新規定に移行した場合、本ソフトウェアの一部の機能は使えなくなる可能性があります。この場合には、アップグレードにて対応させていただく予定です。なお、アップグレードは有償とさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

メモリースティックUSBリーダー／ライター

インターフェース：USBインターフェース
転送速度：最大12Mbps

電源部、その他

動作電圧	DC5V（USBケーブルより供給）
消費電流	動作時　最大500mA
	PCサスペンド時　最大2.5mA
外形寸法	約42×22.5×85.5mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約40g（“ メモリースティック ”は含まず）
使用環境	温度 0℃〜40℃（結露のないこと）
	湿度 20%〜80%（結露のないこと）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書およびCD-ROMに付属の取扱説明書（PDFファイル）をもう一度ご覧になってお調べください。CD-ROMに付属の取扱説明書には、より詳細な情報が記載されております。

> パソコンとの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
> http://www.sony.net/memorystick/support
> " OpenMG "に関する情報をご案内します。
> http://www.openmg.com/jp/

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本取扱説明書の裏表紙をご参照ください）にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：MSAC-US20
- シリアル番号
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- ご使用環境:
  - ーご使用パソコンの機種名
  - ーOSのバージョン
  - ーメモリー容量
  - ーハードディスクなどの容量
  - ーご使用のポート
  - ー一緒にお使いのアプリケーションソフトウェア名

お問い合わせ窓口のご案内	■ サポート情報は http://www.sony.net/memorystick/support ■ テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談窓口です。
電話のおかけ間違いにご注意ください。	電話：　0564-62-4979 受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時 （ただし、年末、年始、祝日を除く） お電話される際に、本機の型名（MSAC-US20）をお知らせください。 より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan